

猿之助の第三世界

入場
無料

トーク&ライブショー

猿之助の世界 第三章

水谷由美子（山口県立大学教授）

柱本めぐみ（ソプラノ）

松園洋二（作曲家・伴奏ピアニスト）

2007

5月19日
|土|

開場：十四時三十分 開演：十五時

オペラと出会った歌舞伎の風 猿之助オペラ

二〇〇五年の第一章では「スーパー歌舞伎 ヤマトタケル」を、二〇〇六年の第二章では「猿之助歌舞伎とジャポニスム」をテーマに大変好評を得ました。

二〇〇七年第三章では、市川猿之助丈がオペラと出会い、対峙し、革新的な作品を発表したということに注目します。

ゲストに、山口県立大学水谷由美子教授、ソプラノ歌手の柱本めぐみ氏と伴奏に作曲家の松園洋二氏をお招きし、貴重な映像やミニコンサート、猿之助丈デザインのオペラ衣裳を紹介し、様々な角度から市川猿之助丈の多才な創造の世界に迫ります。

猿之助の世界 第三章

市川猿之助とオペラ

● 対談

『市川猿之助とオペラ』水谷由美子・毛利臣男

● 映像で見るオペラ (市川猿之助演出作品)

リムスキー＝コルサコフ作曲『ル・コックドール(金鶏)』

リヒャルト・シュトラウス作曲『影のない女』

ダイジェスト上映

● ミニコンサート&コスチュームインスタレーション

ミニコンサート

市川猿之助演出オペラ作品『ル・コックドール(金鶏)』

『影のない女』より各1曲

柱本めぐみ・松園洋二

コスチュームインスタレーション

「モーリの色彩空間Part.7 OPERA!」に出品された

市川猿之助デザインの衣裳等によるコスチュームインスタレーション

※入場無料(事前申込み可)

■ お問い合わせ:

京都造形芸術大学 劇場企画運営室

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

Tel : 075-791-9207 fax : 075-791-9438

e-mail : ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp



■ 会場アクセス:

◇JR「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から
→京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上総町・京都造形芸大前」
下車(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から30分)

◇市営地下鉄「丸太町」「北大路」駅から
→京都市バス204循環に乗車、「上総町・京都造形芸大前」下車(約15分)

◇京阪電鉄「出町柳」駅から
→叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分。
→タクシーで10分

◇駐車場はございません。



水谷由美子 (山口県立大学大学院国際文化学研究科教授)

三重県生まれ。お茶の水女子大学家政学専攻科修了。
成安造形短期大学(京都)を経て現在、山口県立大学大学院
国際文化学研究科教授。服飾美学・服飾デザイン専攻。単著
「毛利臣男の劇的空間 - 舞台・ファッション・アート -」(織研新
聞社)、共著「ファッションの歴史 - 西洋服飾史 -」(朝倉書店)
がある。第21回国民文化祭・やまぐち2006のファッションフェス
ティバルの制作・企画を行い、デニムファッションを山口から創
造・発信する。産・民・公・学連携によって、毛利臣男芸術監督
によるモーリ・マスク・ダンスPart12「BLUE MOON」を実現す
る。フィンランドやスペインの大学・企業と連携し、ファッションシ
ョーデザイン交流をする。



柱本めぐみ (ソプラノ)

京都生まれ。幅広いレパートリーを持ち、ロサンゼルス、ボストン
などアメリカでのソロコンサート、ソウル公演などにおいてもその新
鮮な感覚は高く評価されている。日本人として初めて招かれた
「ランザローテ音楽祭」でのパフォーマンスはスペインで放映され、
ビルボード・マガジンなど、アメリカの主要な音楽雑誌でも取り上
げられた。ソリストとして各地のオーケストラと共演して好評を博
する一方、意欲的なプログラム、他に例を見ないスタイルのリサイ
タルは常に話題を呼ぶ。また、近現代作品の演奏にはなくては
ならない存在でもあり、作品を捧げた作曲家も数多い。
日本唱歌の歌唱、同時に諸外国に向けて日本文化を紹介する
活動も意欲的に展開し、その活動は広く注目を集めている。
(CD)日本唱歌「ふるさとへの想い」「花咲く春に」「あの夏の日に」
「クロスワード」「VOICES」(国内未発売)「John Cage」他



松園洋二 (作曲家・伴奏ピアニスト)

京都市立芸術大学音楽学部作曲専修卒業。音楽学部賞受賞。
同大学院卒業。
音楽物語「きつねのおきやくさま」「つるにようぼう」、男声合唱組
曲「雪だるま溶けた」ミュージカル「さくら船旅」など、数々の作
品を発表する一方、伴奏者としても高い評価を得ている。
現在、京都市立芸術大学指揮科(伴奏)、及び、同大学院オペ
ラ演習(伴奏)非常勤講師。



毛利臣男 (京都芸術劇場 芸術監督)

空間と動きの相互関係を多様なメディアを通して創作し、あらゆる
人とその環境を包括するアーティスト。1984年パリ シヤトレ
劇場での市川猿之助演出、オペラ「ル・コックドール(金鶏)」の
衣裳デザインを皮切りにスーパー歌舞伎全作品での衣裳・装置
デザイン(1996年カグヤ以降)やミュンヘン スターツオーバー劇場
でのオペラ「影のない女」等、多くの市川猿之助作品に参加し、ダ
イナミックで美しい衣裳と舞台美術が国内外で高い評価を受け
る。国内外を問わず多くのオペラやバレエ、能、現代劇などの美
術、衣裳デザインや展覧会の美術監督としても多才な才能を発
揮している。
また、文化服装学院および京都造形芸術大学において客員教
授を務め、仮面舞踏劇「モーリ・マスク・ダンス」や空間展「モーリ
の色彩空間」、「毛利の服」での活動を通して、学生と共に自身
が提唱する「コラボレーション美学」という新しい試みに取り組ん
でいる。
2005年4月より京都造形芸術大学 京都芸術劇場の芸術監督
を務めている。